

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.162

2015年11月4日

発行所 兵庫教育文化研究所
〒650-0004
神戸市中央区中山手通4-10-8

互いの声を聴き合って

音楽教育部会
合唱指導研究会

研究所音楽教育部会が、赤穂市の小学校において合唱指導研究会をおこないました。

小学校4～6年生のコーラス部、約50人への指導でした。はじめは『まくをあけよう』『歌は地球の子守唄』の2曲を研究所員の指揮で歌いました。子どもたちのいきいきと楽しそうに歌う姿勢が印象に残りました。

後半には、協力研究所員による指導の場面もありました。はじめに、歌う時の姿勢や柔軟体操、発声練習をおこない、その後は『歌は地球の子守唄』を中心に、お互いの声を聴き合いながら発声することや、音程が下がらないようにしっかり息を送ること、また、言葉を大切に発する指導をされました。約1時間の指導で、美しく声が響きあうようになりました。

研究協議では、自分の声がよくわからない子どもに対する指導については、お互いに聴き合いをすることが大切なのではないか。かけあいなどをして自分と相手の声を聴き比べることで、自分の声がかかることになるという意見が出ました。また、小さい学校で合唱指導をする際に、少人数で大きな声を出すのは難しいという意見に対しては、少人数には音量ではなく、人数にあった表現をもとめるとよいのではないかという意見が出ました。また、地声で歌う子どもには動作をつけて歌うことで、やわらかな声が出るようになるという意見が出されるなど、たいへん学びの多い時間となりました。

指導の最後に、協力研究所員から「みなさんは合唱をして、歌が上手になるのはもちろんですが、歌で思いを伝えることで、心がゆたかになります」と話され、子どもたちは大きく頷いていました。

指導者の声かけが子どもたちの「上手に歌いたい!」という気持ちと一致すると、歌声が大きく変わる。そのことが実感できる合唱指導研究会となりました。

